

第19分科会「里山と竹」

テーマ：失われる動植物の多様性（竹害を排除する）

日時：2008年5月10日（土）

場所：成田市竜台の竹園

参加者：32名

スタッフ：田代 武男



内容

放置された竹林が拡大している現状と竹害排除の実際

成田市竜台の竹園では、竹害排除の実際と竹林セラピー園の整備状況を見学させて、その説明を行った。

- 失われた動植物の多様性 竹林が放置されると里山の景観が大きく変わるだけでなく、ひいては日本の美しい原風景が様変わりしてしまいます。放置された竹林は悪循環で、里山の多様な動植物が近年急速に失われつつあります

竹林が放置されると里山の景観が大きく変わるだけでなく、ひいては日本の美しい原風景が様変わりしてしまいます。

放置された竹林は悪循環で、里山の多様な動植物が近年急速に失われつつあります

- 竹害を排除する 竹の本体は、地上に出ている竹桿ではなく、地下茎にあります。伐採だけで竹を絶やすことは非常に困難です。竹の特性をよく理解した竹蓋排除は必要で地下茎の根絶を目指すことが大切です

まとめ

放置された竹林の活用と竹林セラピー

竹林を健康回復や健康増進に役立てたいと考えています。竹林セラピーは、新しい竹林の活用です”



竹林を健康回復や健康増進に役立てたいと考えています。
竹林セラピーは、新しい竹林の活用です

